

2022(令和4)年度

札幌圏 就労移行支援事業所 調査結果

札幌障がい者就業・生活支援センター たすく

(※ 2023年3月、事業所を移転しました)

2022年度 就労移行支援事業所調査

■ 調査対象 札幌圏の就労移行支援事業所 86事業所

- ・ 2023年 4月 1日現在、札幌圏の指定**就労移行支援事業所** 86事業所に調査協力依頼。
 - ◇ 札幌市内 73事業所 + 従たる 3事業所（主たる・従たる で 特徴や取組み内容が異なるため）
 - ◇ 石狩市内 2事業所 ◇ 江別市内 5事業所 ◇ 北広島市内 3事業所

■ 調査内容を一部追加・変更

- ・ 作業・施設外就労・プログラム内容を記述もらう欄に、
 - 「**工賃** あり なし」 （通所に掛かる交通費だけでも稼げれば…のニーズ増加）
 - 「**在宅訓練** あり なし」 （将来の在宅就業を目指し在宅で訓練できれば…のニーズ増加）を追加し、回答説明文章を読まずとも、瞬時に有・無を確認できるよう修正した。

■ 調査結果の利用方法・範囲（協力依頼文書/次のスライドをご参照ください）

- ① 相談支援対象者に対して、就労移行支援事業所の選択・比較検討を進める際の情報提供資料として活用（ナカポツの中立・公平性を意識し、偏った情報提供はしない）するとともに、
- ② 障がい者の雇入れ等をご相談頂いた企業担当者へ、募集条件等にマッチする利用者が在籍しているような就労移行支援事業所についてご相談があった場合の情報提供にも活用する。
- ③ 札幌市・石狩市・江別市・北広島市・小樽市のナカポツ、北海道障害者職業センター の9機関と、上記①②の利用目的に限定し、全回答調査票(写し)をファイルに綴ってお渡し(共有)する
- ④ 調査結果をまとめた統計データは、圏域の就労移行支援事業所の現状等を説明・発信する際の情報として活用する。（個別事業所が特定される形での情報公開はしない旨を依頼文書に明記）

■ 調査統計結果の情報共有、発信

- ・ 調査回答にご協力頂いた全就労移行支援事業所へ、調査結果をまとめた資料（このPowerPoint）をファイル添付してMail送信して情報共有。たすくのホームページでも統計情報を公開する。

2023(令和5)年4月12日

札幌圏 就労移行支援事業所
管 理 者 様

札幌障がい者就業・生活支援センター たすく
センター長 松本 健



連携促進等に向けた就労移行支援事業所 状況調査への協力について (お願い)

時下、ますますご清栄のごことお慶び申し上げます。

平素は、当センター事業の運営 及び 支援対象者への相談支援における役割分担等に対し、温かいご理解とご支援をいただき心より厚くお礼申し上げます。

さて、当センターで相談支援を進めるなかで、就労移行支援事業所の利用を検討される方に対して、札幌圏の就労移行支援事業所の情報をより具体的に提供するとともに、連携や役割分担の促進を図るため、下記要領で就労支援の状況を把握させて頂きたく存じます。

業務ご繁忙の折誠に恐縮に存じますが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

同封させて頂いた 2022年度活動報告 及び パンフレットにつきましては、当センターとの連携にご活用いただければと存じます。今年度もよろしくお願いいたします。

記

1. 調査内容・方法

別紙1 「2022年度 就労移行支援事業所 状況調査票」に

ご記入の上、同封の返信用封筒にて、2023年 5月12日(金)までにご返信ください。

※ エクセル調査票への入力を希望される場合はMailで下記へご連絡下さい。ファイル添付返信させていただきます。

メールアドレス: task-center@aiwafukusikai.or.jp

2. 回答頂いた情報の取り扱いについて

- a. 就労移行支援事業所の利用検討や選定相談を進める際、情報提供資料として活用させていただきます。
- b. 障がい者の雇入れ等を検討される企業担当者より、募集内容にマッチする利用者が在籍しているような社会資源等についてご相談があった場合、情報提供資料として活用させていただきます。
- c. 調査結果をまとめた統計データは、ホームページや各種研修機会など、地域状況等を説明する資料として公表・活用させていただきます。(個別事業所の情報を公開・使用することはありません)
- d. 上記 a・b の使用目的に限定して、下記9機関と調査結果(就労移行支援事業所様から回答頂いた「2022年度 就労移行支援事業所 状況調査票」全事業所分)を情報共有させていただきます。

- ① 就業・生活応援プラザとねっと
- ② 就業・生活相談室 からびな
- ③ 就業・生活相談室 テラス
- ④ 就業・生活相談室 しんさっぽろ
- ⑤ 石狩障がい者就業・生活支援センター のいける
- ⑥ 就労支援センター めーでる
- ⑦ えべつ障がい者しごと相談室 すてら
- ⑧ 北海道障害者職業センター
- ⑨ 小樽後志地域障がい者就業・生活支援センター ひろば

◀ 2023年度 スタッフ体制 ▶	
センター長	松本 健一
支援スタッフ	佐々木 裕也 北 丈晴 雄鹿 保絵 脇 紗耶佳 伊藤 かおる (2023.3-産休・育休)

※ 2023.3月～事務所が移転しました。電話、FAX番号は変わりません。

〒001-0010 札幌市北区北10条西1丁目4-2 LEE北10条ビル 303号室(北九条小学校向かいのビルです)

別紙 1

2022年度 就労移行支援事業所 状況調査票

札幌障がい者就業・生活支援センター たすく

- ① 貴法人名 _____ ※ 以下、該当項目に☑を
- ② 貴就労移行事業所名 _____ (提供中 休止中)
- ③ 事業開始年月日 _____ 年 月 日
- ④ 利用可能障がい種別 身体 知的 精神 発達 難病 高次脳
- ⑤ 就労移行定員・現員数 (2023年4月1日現在)

移行定員	4/1	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	計	(人)
移行現員									

⑤ 利用希望者への 情報提供・アピールなど

事業所の特徴、利用検討されてる方に伝えたいことなど	
利用にむけた見学・体験・相談など	工賃支給 有・無 を瞬時に判別できるよう
作業・施設外就労・プログラム内容	工賃 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 在宅訓練 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 在宅訓練 有・無 を瞬時に判別できるよう
職場実習や就職活動支援など	
職場定着支援の方法や期間など	

⑦ 就職支援・職場定着支援の状況 (人)

2022年度 (令和04年度) 実績	就職者数 (就職A型含まず)	貴就労移行支援事業所から、一般企業へ就職された方					就労継続支援 A型事業所 への就職者数
		内 職場実習 を経て就職	内 J・C・J・S J・C	J・S	内 クローズ ドでの就職	内 在宅就業 での就職	
身体障がい							
知的障がい							
精神障がい							
発達障がい							
難 病							
高次脳機能障がい							
合 計							

J・C = 「職場適応援助者(ジョブコーチ)支援事業」、J・S = 「札幌市ジョブリポーター」

⑧ 就労定着支援事業 既に指定・実施 今後実施の計画あり 実施の計画なし 未定

2023.4/1 定着支援事業 利用現員	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	計	=	内 自移行等から	内 他法人移行等から

⑨ 記入ご担当者

ご 職 名 _____ 電話番号 _____ - _____
 ご 氏 名 _____ FAX 番号 _____ - _____
 Mailアドレス _____

調査結果を情報共有している

札幌圏 障害者就業・生活支援センター(就業・生活相談支援事業)等 一覧

小樽後志地域障がい者就業・生活支援センター ひろば
小樽市花園2-6-7 プラムビル3F
TEL0134-26-6381 (JR小樽駅 徒歩13分)

石狩障がい者就業・生活支援センター のいける
石狩市花川南1条4丁目225 カナオカビル3F
TEL0133-76-6767 (バス花川1-5 徒歩1分)

北海道障害者職業センター
北区北24条西5丁目1-1 札幌サンパサ5F
TEL 011-747-8231 (北24条駅 徒歩約1分)

就業・生活相談室 からびな
北区北17条西4丁目2-28
藤井ビル北17条 I 301号室
TEL 011-768-7880 (北18条駅 徒歩約1分)

札幌障がい者就業・生活支援センター たすく
北区北10条西1丁目4-2 LEE北10条ビル 303号室
TEL011-728-2000 (札幌駅北口 徒歩約8分)

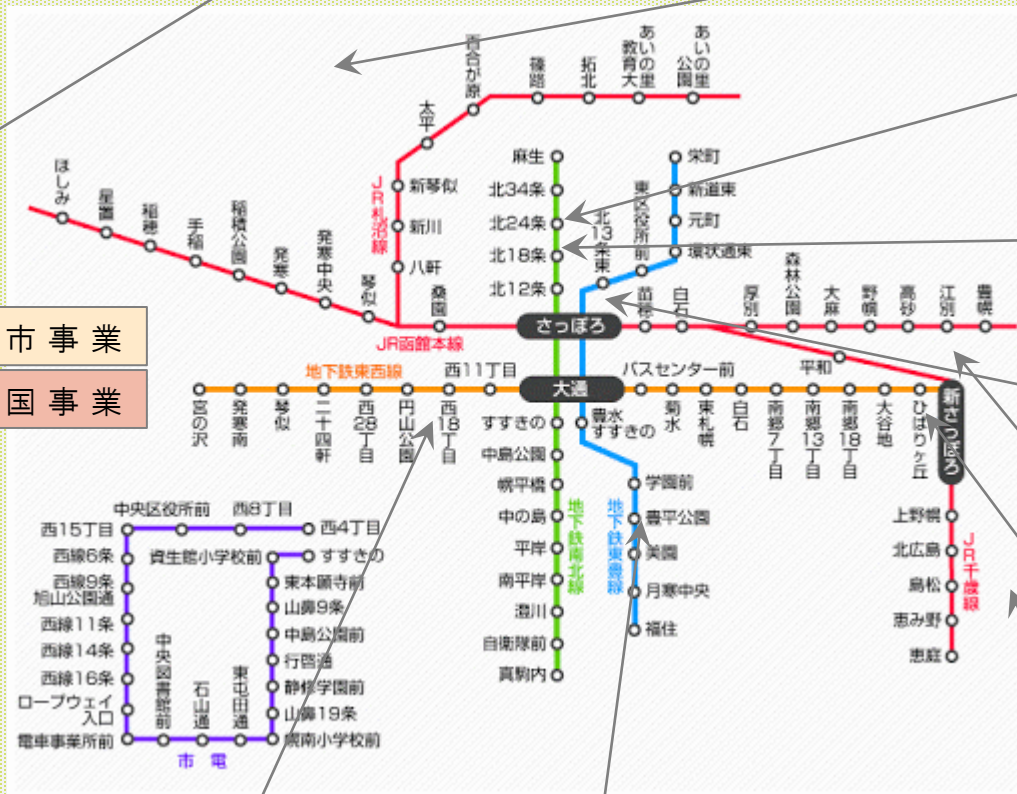
えべつ障がい者しごと相談室 すてら
江別市野幌代々木町15-3
TEL 011-802-7998

就業・生活相談室 しんさっぽろ
厚別区厚別中央3条3丁目3-33
システムコート106号室
TEL011-887-7075 (ひばりが丘駅 徒歩約9分)

就業・生活応援プラザ とねっと
中央区北1条西20丁目1-1 ラントホ`601
TEL 011-640-2777
(西18丁目駅 徒歩約5分)

就業・生活相談室 テラス
豊平区豊平8条11丁目2-18
TEL011-598-9394
(豊平公園駅 徒歩約5分)

就労支援センター めーでる
北広島市朝日町2丁目6-9
TEL011-372-5525



市事業
国事業

調査実施スケジュール・回収状況

2022.4/12(水) 調査協力依頼文書・調査票を **86** 事業所 (内、従たる事業所3ヶ所) へ発送
※ 発送後、あて所に尋ねあたりません ▲ 1 事業所 = 調査対象 85 事業所

5/12(金) 調査回答期限 (回収 53 事業所)

5/15(月)~ 期限までに回答いただけなかった 32 事業所へ電話・協力要請

※ 廃止 ▲ 1 事業所、運営実態が把握できない ▲ 3 事業所 = 調査対象 **81** 事業所

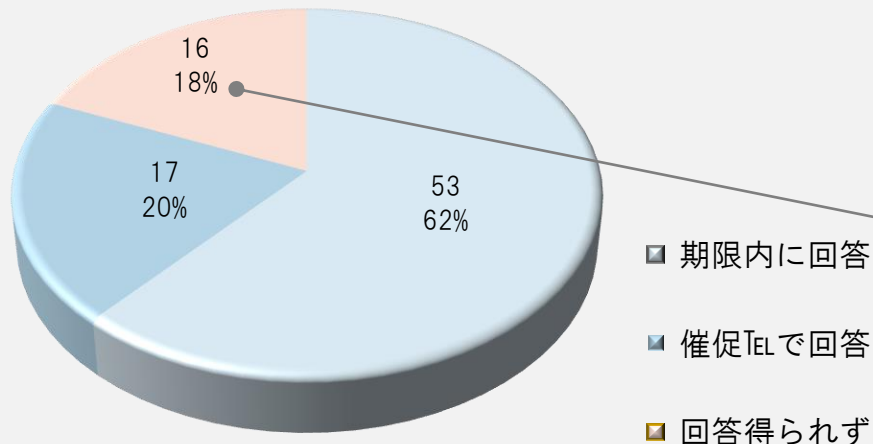
5/30(火) 調査票回収を終了 **70** 事業所より回答をいただいた (回収率 **86.4%**)

6/02(金)~ ◆ 札幌圏の9機関 (1つ前のスライド) へ全調査結果ファイルを情報共有。
回答頂いた全就労移行状況調査票をコピー・ファイルに綴ってお渡し

◆ 協力いただいた全就労移行支援事業所へお礼・報告のMail送信
調査結果をまとめた資料 (この PowerPoint スライドショー) を添付

◆ たすくホームページで公表予定 (<http://www.task-center.jp/>)

調査回収状況



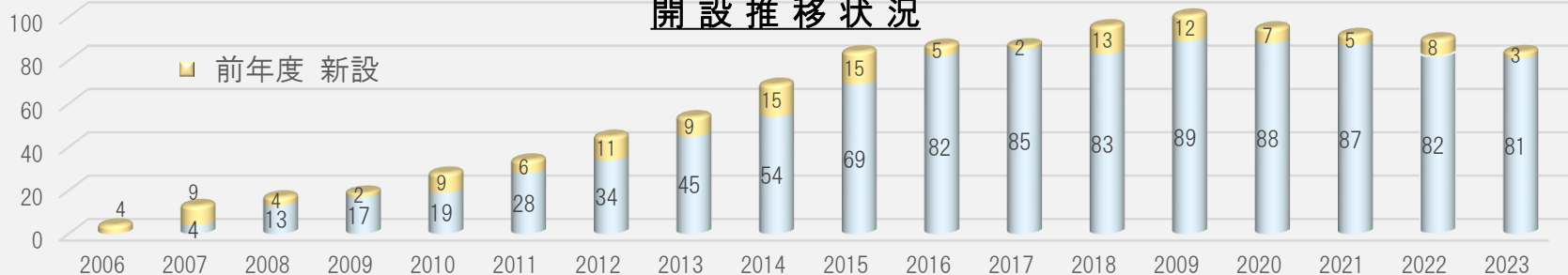
n = 86ヶ所

回答を得られなかった16事業所

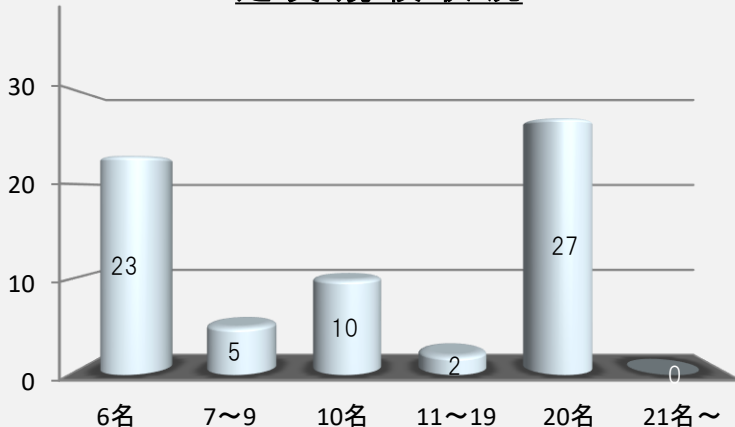
- ・ あて所に尋ねあたりません × 1 事業所
- ・ 休止中のため回答不能 × 3 事業所
- ・ 事業廃止されていた × 1 事業所
- ・ 連絡付かず運営実態把握不能 × 3 事業所
- ・ 調査回答いただけなかった × 8 事業所

札幌圏 就労移行支援事業所 2023年4月1日現在の状況

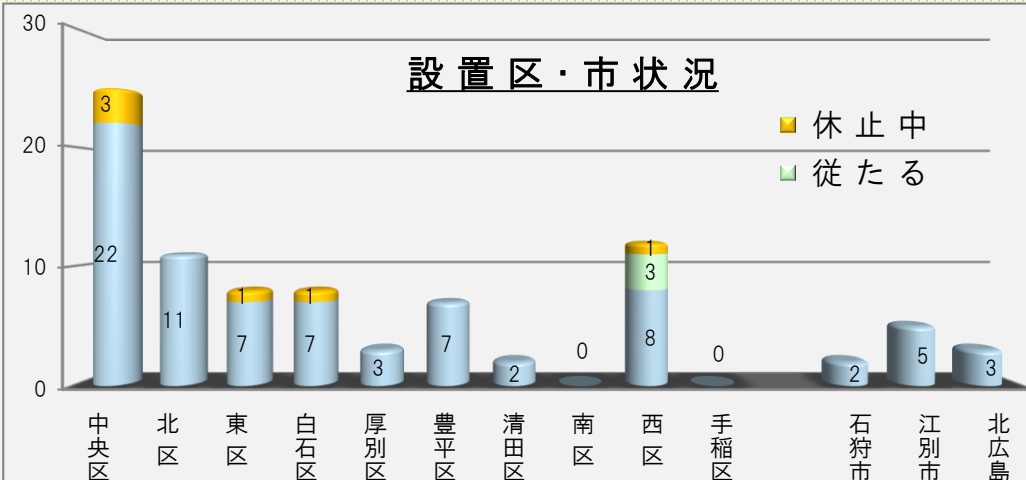
開設推移状況



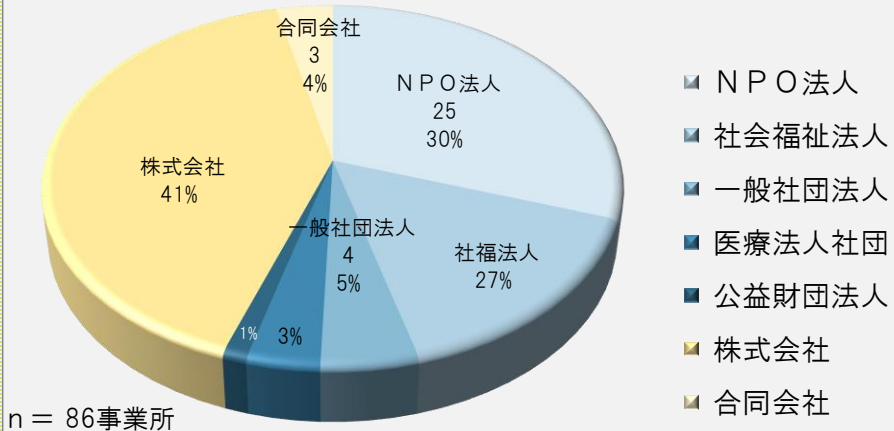
定員規模状況



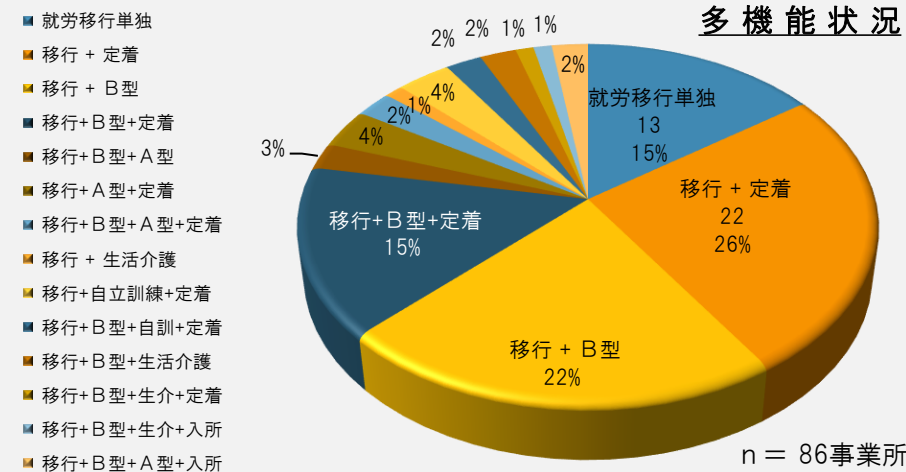
設置区・市状況



設置法人状況

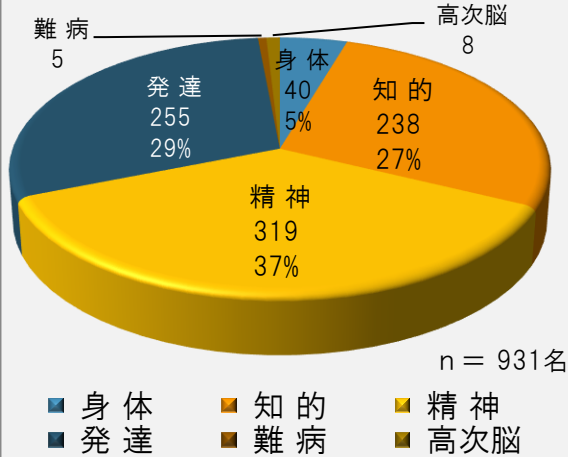


多機能状況



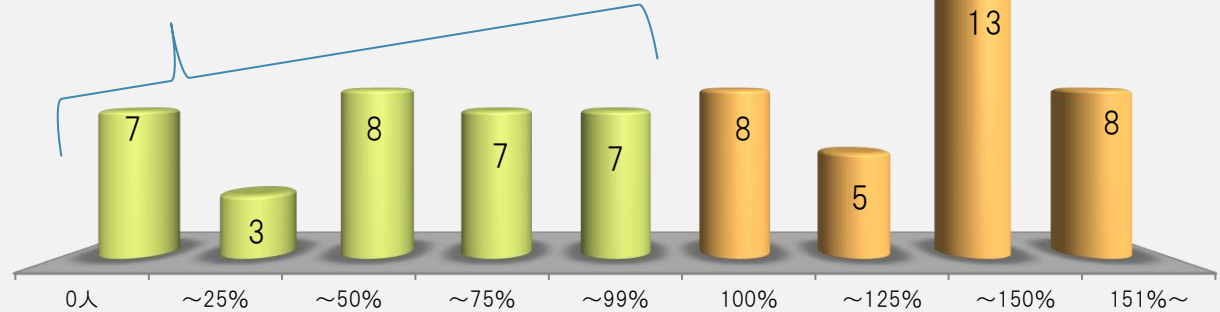
定員・利用現員の状況 (2023年 4月 1日現在)

利用者内訳



定員充足状況 (利用現員 ÷ 定員)

49.5%の就労移行支援事業所が
定員割れ (定員数 > 利用契約者数)



定員：利用現員 区・市別状況

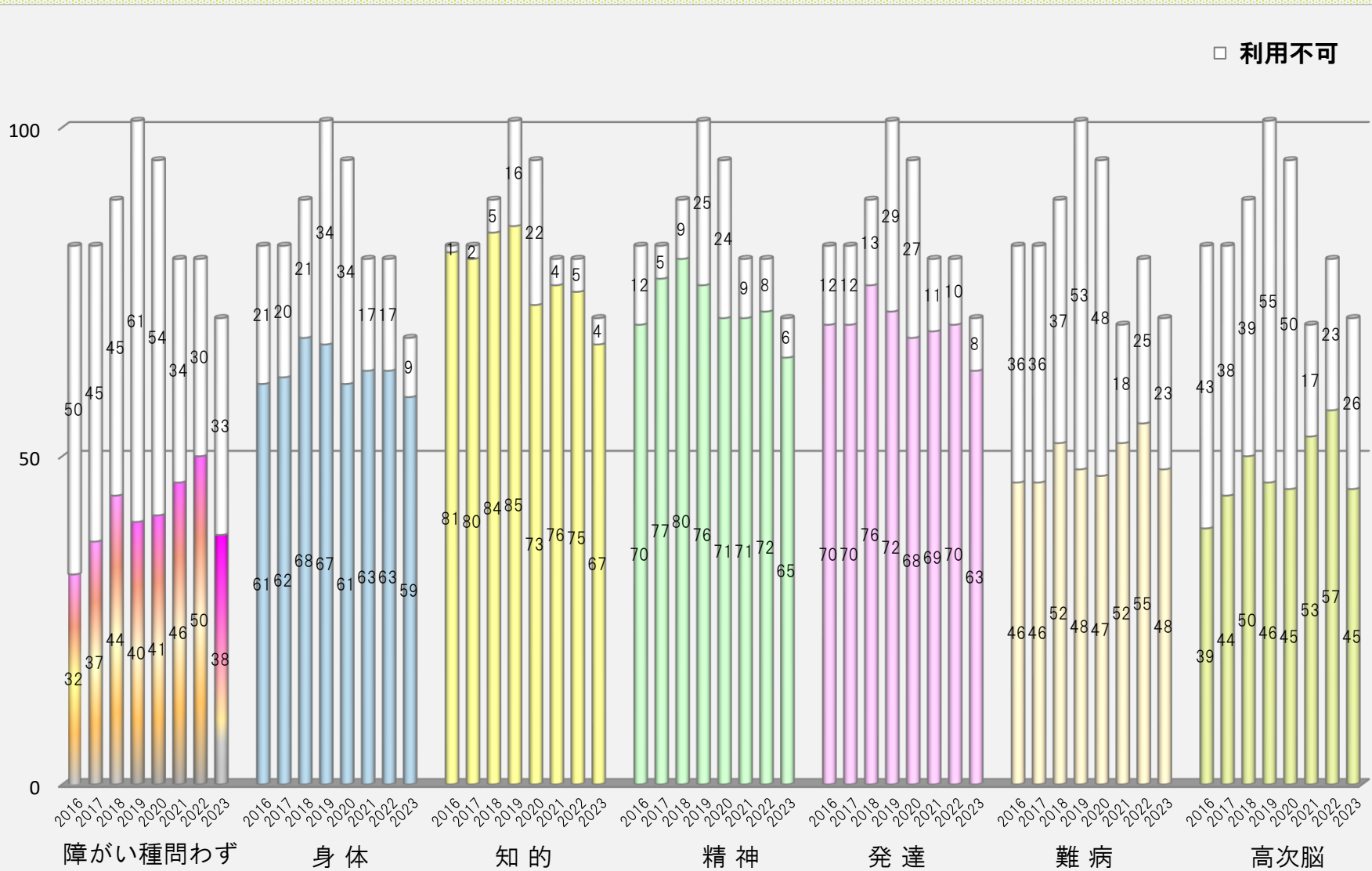


回答を得られた札幌圏の就労移行支援事業所 総定員 835名に対して、2023.4/1時点の利用者は 865名。
札幌圏の定員充足率(通所率は加味していません) 103.6%、前年度(95.3%)。調査開始後初めて100%を超えた。

手稲区・南区は、就労移行支援事業所が皆無となっており、他区の就労移行支援事業所を選択せざるを得ない状況が続いている。

32事業所で定員を下回る利用者数となっている一方で、利用率125%以上の事業所が26事業所となっており、利用者確保に苦心されている事業所と、就労実績や特徴ある支援で選ばれる事業所の2極化が続いている。

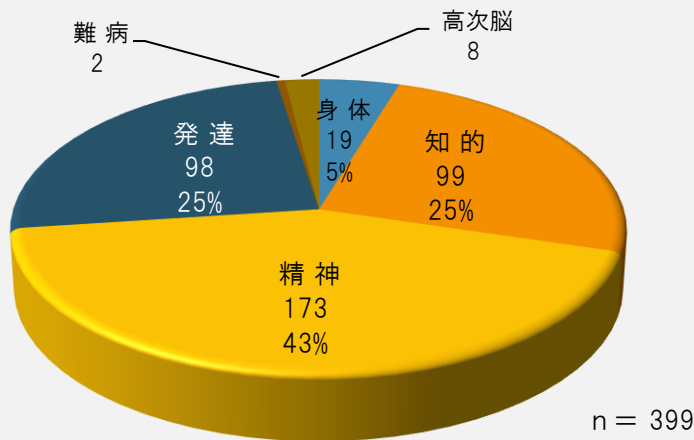
利用可能障がい種別の状況



・障がい種別を問わず利用可能な事業所は38事業所で、昨年度より12事業所減していた。

2022年度 札幌圏の就労移行支援事業所から一般企業への就職状況

就職者内訳



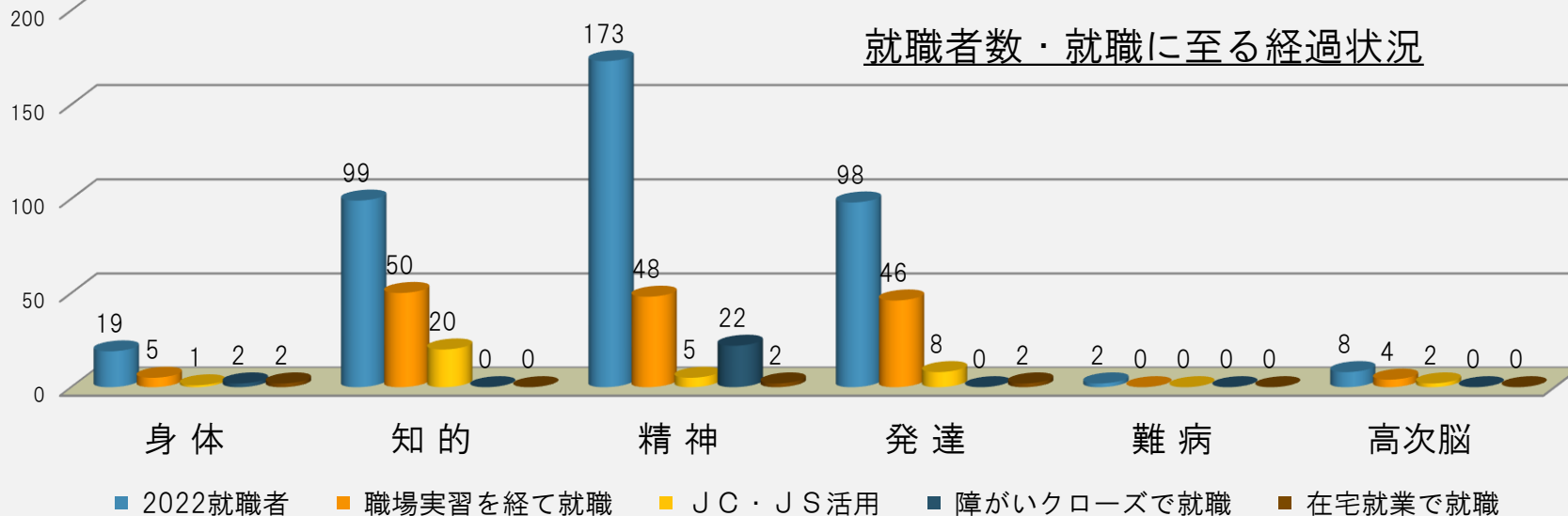
- 身体
- 知的
- 精神
- 発達
- 難病
- 高次脳

就労移行支援事業所から一般企業に就職された方は **399名**。
前年度449名から **▲50名** と全障がいで減退した。

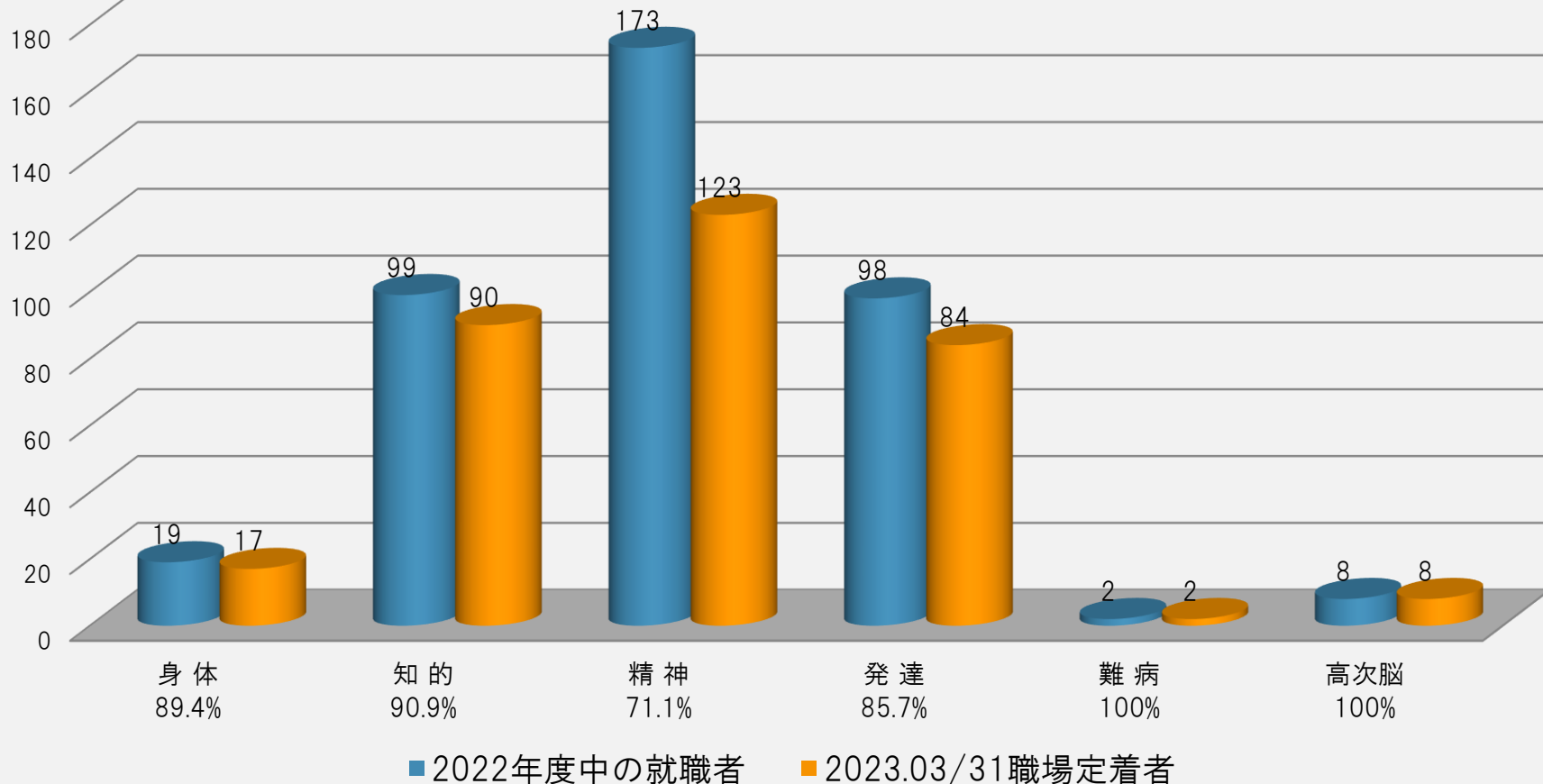
身体 = 22名 → 19名 (前年度比 ▲3名)
 知的 = 125名 → 99名 (" ▲26名)
 精神 = 177名 → 173名 (" ▲4名)
 発達 = 112名 → 98名 (" ▲14名)
 難病 = 3名 → 2名 (" ▲1名)
 高次脳 = 10名 → 8名 (" ▲2名)

- ◇ 職場実習を経て就職 153名 (就職者の 38.3%)
- ◇ ジョブコーチ活用 34名 (就職者の 8.5%)
- ◇ 札幌市ジョブサポーター活用 2名 (就職者の 0.5%)
- ◇ 障がいクローズでの就職 31名 (就職者の 7.8%)
- ◇ 在宅就業での就職 6名 (就職者の 1.5%)

就職者数・就職に至る経過状況



2022年度 就職者の年度末 (0~12ヶ月間経過) 時の 職場定着状況

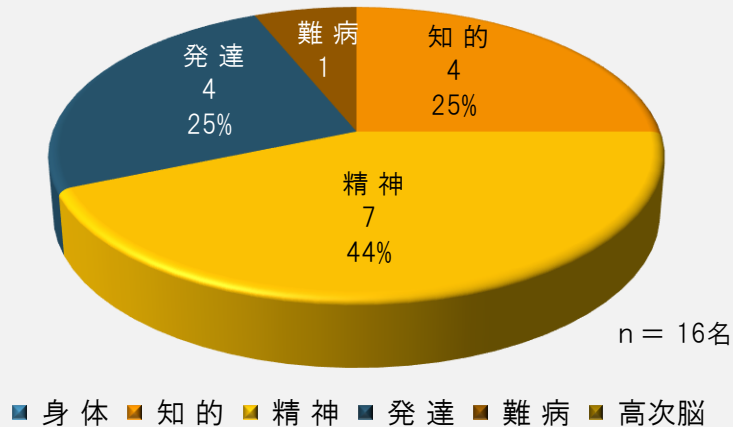


2022年度中に札幌圏就労移行支援事業所から就職された**399名**のうち、2023年3月31日（就職から0~12ヶ月経過）時点で**職場定着**されている方は**324名**。**定着率 81.2%**であった。

- 障がい別の職場定着率は、身体 89.4%、知的 90.9%、精神 71.1%、発達 85.7%、難病 100%、高次脳 100%
（ 2021年度 = 身体 81.8%、知的 84.8%、精神 85.3%、発達 82.1%、難病 66.7%、高次脳 90.0% ）
- と、精神障がい者（▲14.2%）を除く他の障がい種全てで、1年以内の職場定着率が向上していた。
- 特に、難病（2名）・高次脳機能障がい（8名）の就職者数はまだまだ少ないが、その定着率は100%！！

2022年度 札幌圏の就労移行支援事業所から就労継続支援A型への就職状況

就労継続支援A型への就職内訳

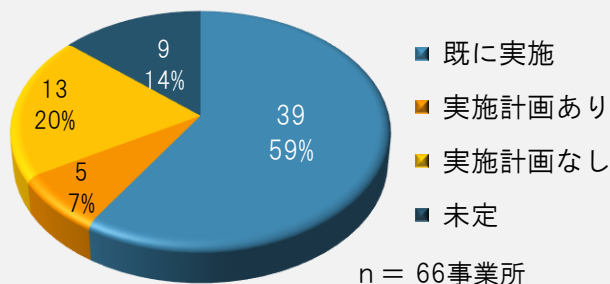


2022年度中に、札幌圏の就労移行支援事業所から就労継続支援A型事業所へ就職（利用移行）された方は16名。

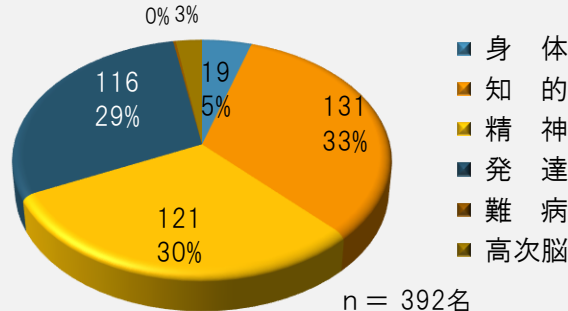
- ◇ 前年度の就労継続支援A型就職者24名より、8名減少。前前年度は微増していたが、微減に転じていた。
- ◇ 一般企業就職者0名だが、就労継続支援A型への就職者はある 就労移行支援事業所は、1事業所だけであった。
- ◇ 札幌市内の就労継続支援A型事業所は、
2022年4月1日 122事業所（総定員2,165名、休止中4事業所）
2023年4月1日 125事業所（総定員2,182名、休止中6事業所）
昨年度に続き、就労継続支援A型事業所は増加傾向にある。

就労定着支援事業の状況

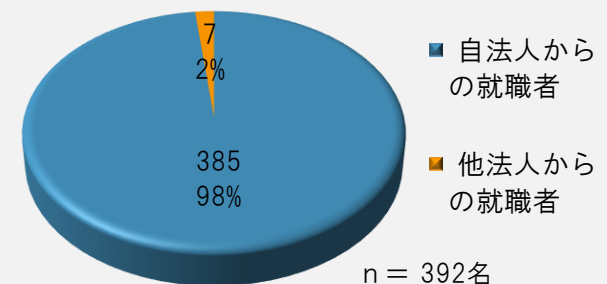
就労定着支援事業の併設実施状況



就労定着支援事業の利用状況 ①



就労定着支援事業の利用状況 ②



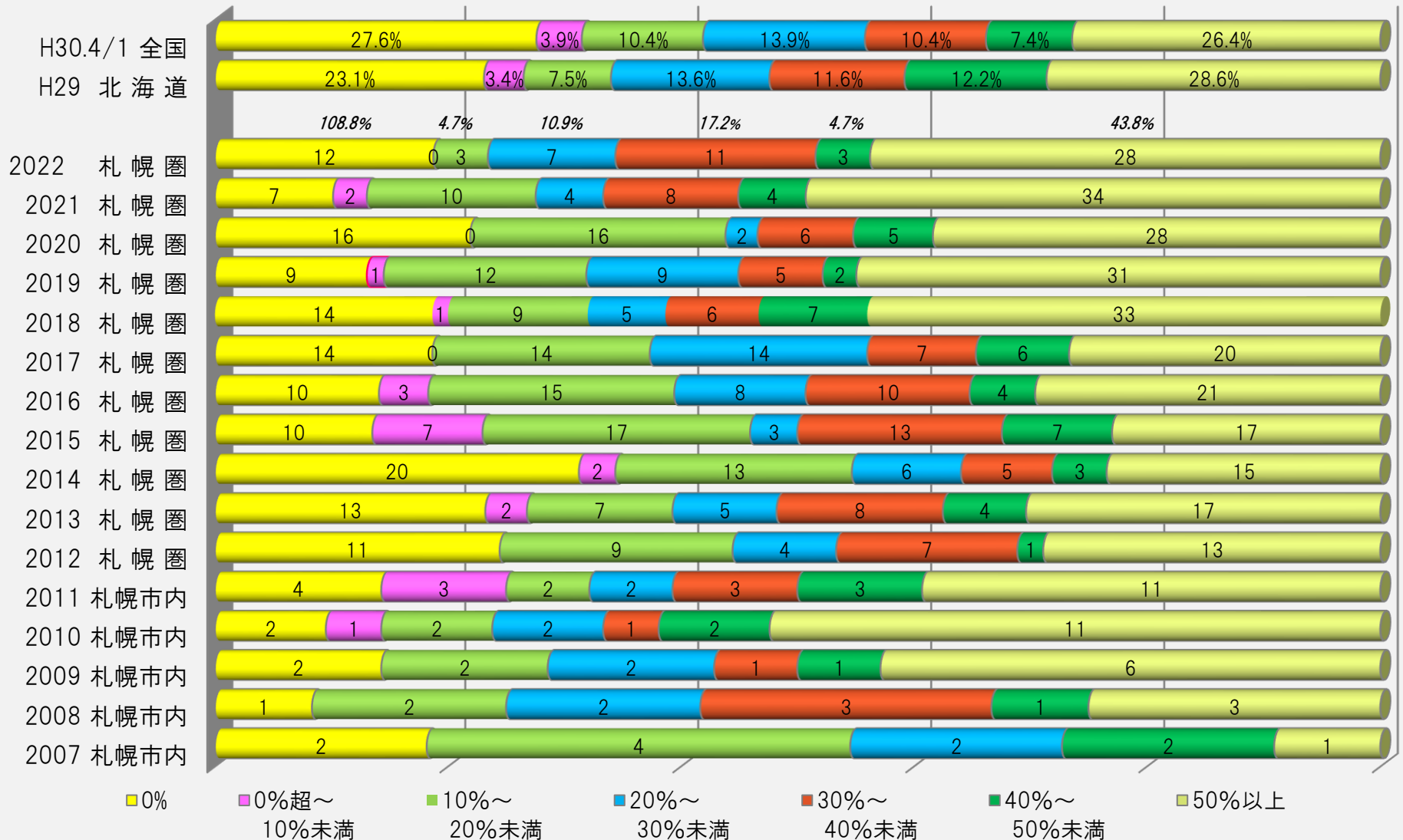
2023年4月1日現在、札幌圏で就労移行支援と就労定着支援事業を併設して運営されている事業所は39事業所

- ◇ 2023年4月1日時点の就労定着支援事業利用者392名（前年度より81名減）
- ◇ 他法人の就労移行・就労継続支援事業所から就職した方を引き継いで、対応されている就労定着支援事業所は、4事業所。（7名）うち2事業所は江別市内の就労定着支援事業所であり、社会資源の少ないなかで法人をまたいだ連携体制が構築されつつあることが伺えた。

2022年度 札幌圏 就労移行支援事業所の **一般就労移行率**

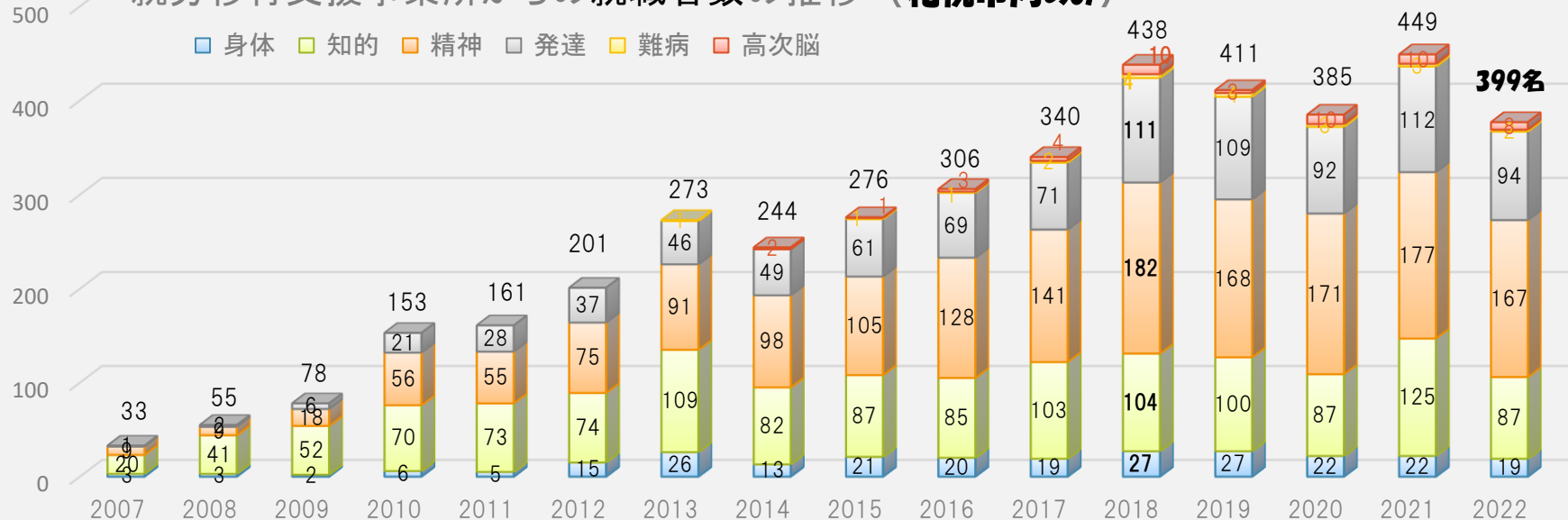
札幌圏 2022年度の一般就労移行率〔就職者数 399名 ÷ 総定員 865名〕 = 46.1%。(前年度48.7%)

定員数の50%以上の就職者を送り出す事業所が28事業所(43.8%)の一方で、就職者0名は依然として12事業所(2022年度中に新規開設された事業所、休止中・調査回答無し)の事業所は計上していない



2022年度 札幌圏就労移行支援事業所調査の集計を終えて（まとめに代えて）

就労移行支援事業所からの就職者数の推移（札幌市内のみ）



○ 2023年4月1日現在、札幌圏の就労移行支援事業所は 85 事業所（「従たる」3事業所も含め）

・ 回答頂けた70事業所の総定員835名。利用現員865名、定員充足率は103.6% 初めて充足率が100%を超えた

○ 2022年度中に 札幌圏の就労移行支援事業所から一般企業へ就職された方は 399 名

・ 2021度（過去最高）の就職者数449名から、50名減少した。

○ 2022年度中に就職した方399名 → 年度末時点での職場定着者 324名。定着率は81.2%

○ 就労定着支援事業を自法人で併設する就労移行支援事業所は 39 事業所

・ 就労定着支援事業の利用者は392名。内98.2%が自法人事業所からの就職者

○ 就労移行事業所の利用検討相談時に、選択しやすくなるよう追加した設問の結果は、

・ **工賃支給「有」50事業所(74.6%)、在宅訓練「有」33事業所(42.8%)** の回答を頂けた。

札幌圏の就労移行 85事業所のみな様、ご協力ありがとうございました。

